

## ミャンマーの人虎伝：ジンポー語による民話テキスト\*

倉部 慶太

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

キーワード：人虎伝, ジンポー語, カチン人, ビルマ, ミャンマー

### 1 はじめに

人が獣に化ける俗信や変身譚は世界各地に流布している。変身する獣は地域により異なるが、その地域で重要視される肉食獣が選ばれる傾向があるとされる。欧州の狼男をはじめとして、欧州北部ではクマが、南アメリカではジャガーが、アフリカではヒョウ・ハイエナ・ライオンなどが、日本ではキツネがモチーフとして選ばれることが知られている (Thomas 1911: 149, Hamel 1915)。一方、中国・東南アジア・インドに広く流布する類話は、人がトラにまたはトラが人に変身する類のものである (Thomas 1911: 149-50, Wessing 1986, Rose 2001: 390-1, Newman 2012, etc.)。例えば、『唐人説薈』収録の人虎伝は、中島敦の『山月記』の典拠として知られる (上尾 1974)。中国では唐代以前にも数々の化虎譚がすでに存在しており、もっとも古いものは前漢までさかのぼるとされる (王 2015)。

東南アジア島嶼部に伝わる類話として、例えば、槍でさされたトラの血痕を追うと、独り身の男の家にとどり着き、そこで男の死体を見つけたという話がスマトラのフォート・デ・コックに伝わる (Bradley 1929: 115-6, Newman 2012: 106)。また、ある晩、人の姿をした人虎がやってきて一晩泊めてやると、家の者が血をすすられたという話が北スマトラに伝わる (Wessing 1986: 85, Newman 2012: 96-7)。ジャワ島では、人虎は「マガン・ガドゥンガン」と呼ばれ、トラ柄の腰布をまとうことでトラとなり、不用心な旅人を襲う。犠牲者の魂は次の犠牲者を見つけるまで解放されないという (Rose 2001: 390-1)。同様に、東南アジア大陸部に伝わる類話として、例えば、雲南・タイ・ミャンマーなどに居住するラフ人には、人や動物を襲い、その血や腐肉を食し、人虎に化ける悪霊が知られる (Matisoff 1988: 667)。ミャンマー北部のタマン人は、現地ではトラに変身できる民族として知られ、彼らが居住するタマンティは「トラが楽しく暮らす洞窟」という意味とされる (Brown 1911: 306, 藤原 2016: 3)。カンボジアでは、魔術的な軟膏によりトラに変身した女性を助けるために、同じ軟膏を塗った男がトラになった女性をこん棒で殴って人間に戻した話が伝えられる (Aylesworth 1970: 62-3, Newman 2012: 109-10)。

---

\* 筆者による現地調査は、日本学術振興会科学研究費補助金 (特別研究員奨励費) 「ジンポー語の記述言語学的研究」 (課題番号: JP12J02938), 日本学術振興会科学研究費補助金 (特別研究員奨励費) 「北部ビルマにおけるジンポー語危機方言の調査とドキュメンテーション」 (課題番号: JP14J02254), 日本学術振興会基盤研究 (B) 「ビルマの危機言語に関する緊急調査研究」 (課題番号: JP17H04523) の助成を受けている。

また、北東インドに伝わる俗信として、例えば、セマ・ナガ人の間では、物理的に人がトラに化けるのではなく、睡眠中に人の魂が野生のトラの体に入り、日光を浴びると魂が再び元の体に戻ると信じられている。トラの状態を負傷すると睡眠中の人体も傷を負い、トラの状態で殺害されると人体も死亡するという (Hutton 1920: 43-4)。ガロ人には、昼間に人の姿をし、夜にトラに化ける人虎の種族などが伝わる (Brighenti 2017)。カシ人の人虎には食の禁忌があり、カニや黒かぼちゃが忌避され、また、彼らの食事はほかの人の手で触れてはならない (Lyngdoh 2016: 653)。ほかにも、周辺地域では、チベット・ビルマ系言語を話すカチャリ人、クキ・チン系の人々、セマ・アンガミ・サンタム・チャン・コニャックなどのナガ系の人々、オーストロアジア系言語を話すムンダ人、ドラヴィダ系言語を話すコンド人などにも関連する話が流布している (Hutton 1920, Kharmawphlang 2001, Newman 2012, Lyngdoh 2016, Brighenti 2017)。

これらの地域の人虎に見られる特徴として、例えば、次のようなものが知られている。通常のトラと異なり前後の足に人と同じように5本の指または鉤爪を持つ(スマトラ島のアチェ地域、ミャンマーのカチン人、北東インドのセマとアンガミ・ナガ人、メガラヤ州のカシ人)<sup>1</sup>、人の歯を持つ(北スマトラの南タパヌリ地域)、人のように尻尾を持たない(同上)<sup>2</sup>。トラに化ける方法として、トラの皮を被る(中国)、トラ柄の腰布を身にまとう(ジャワ島)、身にまとった衣類を脱ぐ(ガロ人やカチン人)、水で濡らした地面のうえを裸で転がる(タマン人)、ライムやライムジュースのにおいをかぐ(アチェ)、川や湖を泳いで渡る(マレー半島)、魔術的な軟膏を塗る(カンボジア)、特別な泉の水を飲む(アンガミ・ナガ人)、人虎の食べ残しを食べる(セマ・ナガ人)、人虎と寝食をともにする(同上)、人虎から鶏肉と生姜を特定の方法でごちそうされる(同上)、呪文を唱える(ガロ人)、などが知られている<sup>3</sup>。トラから人間に戻る際にはトラに化ける際に行ったことと逆のこと、例えば、同じ川や湖を再び渡る、トラに化ける際に脱いだ服をぶつける、などを行う必要がある。ほかに、名前を呼ぶ(アチェ)、唾と水をふきかける(ジャワ島西部)、牛肉や人肉を食べる(ジャワ島)、などが信じられている<sup>4</sup>。多く場合、人虎は男性として語られる。女性の人虎が関与する場合、それはたいてい夫の没落をもたらす妻の役割を担うとされている (Newman 2012: 110-1)。

<sup>1</sup> カシ語で「人虎」は *sansaram* と呼ばれ、字義どおりには「5本の鉤爪」という意味とされる (Lyngdoh 2016: 651)。

<sup>2</sup> アチェ (Wessing 1986: 67-70)、カチン (Enriquez 1916: 143, Bennison 1931: 270, Girsham 1971: 101-2, Dunlop 1979: 295)、セマとアンガミ (Hutton 1920: 42-3)、カシ (Lyngdoh 2016: 651)、南タパヌリ地域 (Wessing 1986: 84)

<sup>3</sup> 中国 (Ashley 2001: 150, Newman 2012: 99)、ジャワ島 (Skeat 1900: 161, Wessing 1986: 82-3, Rose 2001: 390-1, Newman 2012: 99)、ガロ (Brighenti 2017: 106)、カチン (Girsham 1971: 101-2, Dunlop 1979: 295)、タマン (Brown 1911: 306)、アチェ (Wessing 1986: 69, Newman 2012: 95)、マレー (Skeat 1900: 157-8, Locke 1954: 158-9, Wessing 1986: 97-8, Newman 2012: 53)、カンボジア (Aylesworth 1970: 62-3, Newman 2012: 109-10)、アンガミ・ナガ人 (Hutton 1920: 42)、セマ・ナガ人 (*ibid.*, p.43)、ガロ人 (Brighenti 2017: 106)

<sup>4</sup> アチェ (Wessing 1986: 69)、ジャワ島西部 (Wessing 1986: 56, Newman 2012: 100)、ジャワ (Wessing 1986: 69)

本資料の目的は、筆者らがミャンマー北部におけるフィールドワークで蒐集したカチン民話のうち、「人虎コントン」と題するジンポー語によるカチンの人虎伝の本文を語釈と和訳をつけて提示することにある。カチン人はミャンマー北部を中心に、東は西南中国の雲南省、西は北東インドのアッサム州などに居住する。カチン人は山地民であり、低地と比べて、人口がまばらで、文化・言語的により多様であり、国家による強い影響を必ずしも受けていない山地に居住する (Enfield and Comrie, eds. 2015: 4-5)。ただし、20 世紀以降は低地化が進んでいる。カチン人は言語的に多様であり、(1) に示すようなシナ・チベット語族チベット・ビルマ語派に属する様々な言語が通用している<sup>5</sup>。そのなかで、ジンポー語はカチン人の共通語として通用しており、言語的に多様なカチンの人々を結びつける 1 つの重要な紐帯の役割を果たす。言語類型論的に、ジンポー語は、音節声調言語であり、弱強型のリズムを持ち、基本的な音節構造は C1(C2)V(C3)/T である。形態的に分析的・膠着的である。動詞末尾型の言語であり、格標示の体系は主格・対格型である。アスペクト・ムード卓立型の言語であり、テンスを持たない。文法的体言化を持ち、いわゆる動詞補文、名詞補文、関係節、内在節、無主部節、副詞節など幅広い機能領域が体言化により形成される (詳しくは Kurabe 2016, 2017, 倉部 2020 などを参照)。

#### (1) カチンの主要言語

ジンポー語	チベット・ビルマ語派	サル語支	ジンポー・ルイ語群
ツアイワ語	チベット・ビルマ語派	ロロ・ビルマ語支	ビルマ語群
ロンウォー語	チベット・ビルマ語派	ロロ・ビルマ語支	ビルマ語群
ラチッ語	チベット・ビルマ語派	ロロ・ビルマ語支	ビルマ語群
ラワン語	チベット・ビルマ語派	ルン語支	ヌン語群
リス語	チベット・ビルマ語派	ロロ・ビルマ語支	ロロ語群

ミャンマーはトラが生息する 14 のアジア大陸国家の 1 つであり、ベンガルトラ (*Panthera tigris tigris*) とインドシナトラ (*Panthera tigris corbetti*) の 2 つの亜種が生息している (Lynam 2003: 343)。そのなかで、カチン地域は特に豊富なトラの個体数を擁する地域であった。ミャンマー北部のフーコン渓谷鳥獣保護区は現在でも世界最大のトラ保護区である。20 世紀はじめには同国で多くのトラの生息が確認されており (Pollok and Thom 1900), 19 世紀末から 20 世紀初頭にカチン地域に滞在した宣教師オーラ・ハンソンもこの地域のトラの豊富さに言及している (Hanson 1913: 36)。しかしながら、乱獲と人の居住区拡大は、過去 1 世紀のうちに急激なトラの個体数の減少を引き起こし、現代のミャンマーにおけるトラの個体数は 150 頭以下と推測されている (Lynam 2003: 344)。

本資料に例示されるように、カチン民話にはしばしばトラが登場する。(2) にいくつか例示するように、筆者らがミャンマー北部で蒐集したカチン民話の資料のうち、37 話のタイトルに sharaw 「トラ、ヒョウ」が含まれる。これらの資料は、筆者が現地協力者とともにミャンマー北

<sup>5</sup> ルイ語支については LaPolla (2003) を参照。リス語の話者は、特にミャンマーのカチン州以外では、カチンに含まれないことが多い。

部において行ったフィールドワークにより得られたものである。そのうち、1,805 話分の音声および 1,589 話分の書き起こしは、オーストラリアの危機文化アーカイブである PARADISEC で公開している (Kurabe 2013)。KK1 から始まる ID はこのアーカイブにおける ID である。

(2) 筆者らが蒐集した「トラ、ヒョウ」をタイトルに含む民話

- KK1-0234 「ナンビャとトラ」 (DOI: 10.4225/72/5988922de4f71)
- KK1-0236 「トラとシカ」 (DOI: 10.4225/72/59889236a9891)
- KK1-0558 「ウサギとトラ」 (DOI: 10.4225/72/5989e0e7d1bd5)
- KK1-0856 「トラとカタツムリ」 (DOI: 10.4225/72/5989e5ba48c34)
- KK1-1217 「トラとゾウ」 (DOI: 10.4225/72/598b34ab93390)
- KK1-1227 「イヌの王とトラ」 (DOI: 10.4225/72/598b34d747045)
- KK1-1243 「トラと嘘つき」 (DOI: 10.4225/72/598b35178a7c5)
- KK1-1713 「ヒツジとトラ」 (DOI: 10.4225/72/598c8629c24ce)
- KK1-1515 「ライオンとオオカミとトラ」 (DOI: 10.4225/72/598b39ab5bb45)
- KK1-0778 「嘘つきのトラ」 (DOI: 10.4225/72/5989e46d50b88)
- KK1-1477 「恩知らずなトラ」 (DOI: 10.4225/72/598b39088f449)
- KK1-1277 「トラを殺した村」 (DOI: 10.4225/72/598b35aa7ffd6)
- KK1-1624 「火を点けられたトラ」 (DOI: 10.4225/72/598c849e4791e)
- KK1-0030 「ヒョウが斑点になったわけ」 (DOI: 10.4225/72/59888f2e5e615)
- KK1-1301 「母の言葉を聞かないトラの兄弟」 (DOI: 10.4225/72/598b36127a9d1)
- KK1-1793 「ウシを盗んだトラとナンビャ」 (DOI: 10.4225/72/598c878545742)

本資料 (KK1-1276) のように、筆者らのコレクションには人虎の話も含まれる。例えば、KK1-1009 (DOI: 10.4225/72/5989e84086c46) は次のような話である。

これは、1985 年頃、カチン州パッカ市付近のナムブル川の近くで実際に起きた話である。ある軍営の近くの村で水牛がトラに襲われた。トラは現場に足跡を残した。大将がトラを探したところ、1 人の兵士のカバンのなかにトラの鉤爪を発見した。大将がどこでそれを見つけたか訊ねると、兵士は、空腹のためトラに化けるためにそれを用いたことを認めた。村人の水牛であるため、彼は水牛を殺さず、その血だけをすすったと説明した。大将はこれ以上トラに化けないようにその兵士に命じた。

ミャンマー北部の人虎について言及する文献には (3) などがある<sup>6</sup>。各文献で言及されるミャンマー北部の人虎の特徴を (3) に示す。このうち、KK1-1276 は本資料である。異なる文献で 2 度以上言及される人虎の特徴として、普通のトラと異なり 5 本の指 (指球・趾球) を持つこと (以下の「5 本指」)、変身時にトラの鉤爪を使用すること (「鉤爪」)、変身時に特定の呪文を用いること (「呪文」)、変身時に衣類を脱ぐこと (「脱衣」)、人間に戻る条件として脱いで畳んでおい

---

<sup>6</sup> これらの文献の存在は Francesco Brighenti 氏 (p.c., 2019) のご教示による。

た衣類を再び身に着けること(「着衣」), 人肉を食べること(「人肉」), などがある。

(3) ミャンマー北部の人虎

	5本指	鉤爪	呪文	脱衣	着衣	人肉	性別	地域
Brown (1911)				○				タマン
Hanson (1906)		○				○		カチン
Enriquez (1916)	○						男	カチン
Bennison (1931)	○							カチン, ナガ
Girsham (1971)	○		○	○	○		男	タマン
Dunlop (1979)	○		○	○	○	○	男	カチン
KK1-1009		○					男	カチン
KK1-1276				○			女	カチン

現代ジンポー語の標準方言においてトラを表す一般的な語は *sharaw* である。この語は軟口蓋鼻音末子音をともなった形で再構できる (Kurabe 2018)。例えば、いくつかの変種では *sharawng* (ガウリ方言) や *sərooŋ*<sup>1</sup> (ヌンプク方言) のごとく軟口蓋鼻音をともなう。また、標準方言でも *ràwng-tèng* 「ヒョウ」, *ràwng-chyang* 「黒ヒョウ」, *ràwng-mùt* 「ウンピョウ」など複合語で鼻音が残存している。さらに、この語はビルマ文語 *kron* 「ネコ」と同源語である。ジンポー語の *sha-* およびビルマ文語の *k-* は祖語の動物接頭辞を反映している (Matisoff 2003: 138–9)。これらの語の語源は、チベット・ビルマ祖語 *\*m/s-rwaŋ* 「ネコ, ヤマネコ, トラ」である (ibid., p.138, 611)。以下に、チベット・ビルマ諸語におけるこの語の祖語と反映形を系統とともに示す<sup>7</sup>。

(4) 祖語と反映形

チベット・ビルマ祖語	<i>*m/s-rwaŋ</i>	ネコ, ヤマネコ, トラ	
タカリ語	<sup>11</sup> <i>maŋ</i>	トラ	タマン語群
プミ語	<i>yo</i> <sup>13</sup>	トラ	チャン語支
標準ジンポー語	<i>sharaw</i>	トラ, ヒョウ	サル語支
ジンポー語ガウリ方言	<i>sharawng</i>	トラ, ヒョウ	サル語支
ロンウオー語	<i>rauŋ</i>	ヤマネコ	ロロ・ビルマ語支
ラフ語	<i>ǰò</i>	ヤマネコ	ロロ・ビルマ語支
ビルマ文語	<i>kron</i>	ネコ	ロロ・ビルマ語支
ガロ語	<i>meng-gong</i>	ネコ	サル語支
ノクテ語	<i>miang</i>	ネコ	サル語支

<sup>7</sup> タカリ語 (Mazaudon 1994), プミ語 (黄編 1992), ロンウオー語 (Matisoff 2003: 294), ラフ語 (Matisoff 1988: 1137), ガロ語 (Burling 2003: 164), ノクテ語 (Marrison 1967), 標準ジンポー語・ガウリ方言・ビルマ文語 (フィールドノート)。なお、ミャンマーのタマン語 (Taman) と (4) のネパールのタマン (Tamang) 語群は別の言語である。

## 2 本文

本節では本民話の本文を語釈と和訳とともに提示する。本民話のオリジナルデータは、2017年2月17日にカチン州ミッチーナ市のカチンズ地区において行った対面調査により得られた。話者はバモー出身の女性(1950年生)である。調査では、まず、リニアPCMレコーダー(ZOOM H4n)にショットガンコンデンサーマイク(RØDE NTG2)を接続し、音声(44.1kHz/16bit)を取り込んだ。後日、筆者の調査協力者がELANを用いて本文を書き起こし、合わせて筆者が確認を行った。オリジナルデータのPARADISECにおけるIDはKK1-1276である(DOI: 10.4225/72/598b35a630be0)。

ジンポー語はローマ字による正書法を持つ。母語話者と研究者の両方の利用に供すべく、本稿の表記には正書法を用いる。正書法は基本的に音素表記である。ただし、声調と声門閉鎖音は表記されない。本稿では、声調および声門閉鎖音(qで表記)を合わせて明示する。その他、注意を要する点として、aw [o], wi [ui], chy [tɕ], hp [p<sup>h</sup>], ht [t<sup>h</sup>], hk [k<sup>h</sup>]がある。より詳しくは倉部(2020)を参照されたい。

なお、本民話はその場で自然に語られたものであるため、言いよどみや繰り返し、言い誤りなども認められる。本稿ではこれらの修正を最小限にとどめ、できるだけ原文に近い形で提示する。言語学研究の利用に供すべく、和訳はできるかぎり直訳を用いた。そのため、日本語としてやや不自然な部分がある。

(1) **Yáq hkài=na màumwì-àq gà-baw=gàw “Sharaw-nlàwng Hkàwn-Tawng”**

now tell=IRR story=GEN word-head=TOP tiger-weretiger PSN-PSN

**ngú=ai rê.**

say=NMLZ COP

いま語る物語の題目は「人虎コントン」というものだ。

(2) **Mòi-shawng=dèq hkàq-nu gabà=ná lahtáq=dèq=dàq,**

long.ago-before=ALL river-mother big=GEN upper=ALL=HS

昔、大河の上流にだそうだ、

(3) **sharaw-alàwng tai=ai gahtàwng langâi ngà=ai=dàq.**

tiger-superior become=NMLZ village one exist=DECL=HS

(人が)トラになる1つの村があったそうだ。

(4) **Dai=káwq=ná mashà=ni=gàw shanáq ré=jang=gàw,**

that=LOC=GEN people=PL=TOP night COP=when=TOP

そこの人々は夜になると、深夜になると、

- (5) **sharaw tai chye=ai bàwq, amyú-anoi ngú nga=màq=ai=dàq.**  
 tiger become know=NMLZ kind lineage-lineage QUOT say=PL=DECL=HS  
 トラになることができる種類, 血統といわれていたそうだ。
- (6) **Dai ré=yàng=gàw=dàq, sara langâi-mi=gàw,**  
 that COP=when=TOP=HS teacher one-one=TOP  
 そうするとだそうだ, ある 1 人の先生が…
- (7) **shíq mying=gàw=dàq, Bràng-Sàn ngú=ai sara rê=dàq.**  
 3sg.GEN name=TOP=HS PSN-PSN say=NMLZ teacher COP=HS  
 彼の名前はだそうだ, ブラン・サンという先生だったそうだ。
- (8) **Shi=gàw jàwng-làika qlòì-mi chye=ai majàw,**  
 3sg=TOP school-writing a.little-one know=NMLZ because  
 彼は勉強が少しできたので,
- (9) **“Mà=ni=hpéq làika sharín=ya=na” ngú=ná,**  
 child=PL=ACC writing teach=BEN=IRR say=SEQ  
 「子どもたちに勉強を教えてあげよう」といって,
- (10) **shi=hkrai shi myìt dù=ná,**  
 3sg=alone 3sg mind arrive=SEQ  
 自分で思い至って,
- (11) **dai gahtàwng=dèq lùng=màt=wà=ai=dàq.**  
 that village=ALL ascend=COMPL=VEN=DECL=HS  
 その (上流の) 村にのぼってきたそうだ。
- (12) **Lùng=màt=wà ré=ná, jàwng-gìnsùm-gashà galù-láwq gáp=lá=ná,**  
 ascend=COMPL=VEN LV=SEQ school-shed-DIM be.long-INTNS build=take=SEQ  
 (村に) のぼってきて, とても長い学校小屋を建てて,
- (13) **jàwng-mà=ni=hpéq làika sharín ré=ná,**  
 school-child=PL=ACC writing teach LV=SEQ  
 学生に勉強を教えて,
- (14) **shi dai=káwq ngà, jàwng=káwq ngà,**  
 3sg that=LOC live school=LOC live  
 彼はそこに住んで, 学校に住んで,

- (15) **dai=hku=ná, dai=káwq qyúp, dai=káwq shá=ná ngà=ai=dàq.**  
 that=like=SEQ that=LOC sleep that=LOC eat=SEQ live=DECL=HS  
 そのように, そこで寝て, そこで食べて暮らしていたそう。
- (16) **Marè-mashà=ni=mùng grài tsáwq-ràq=ai=dàq.**  
 village-people=PL=also very love-like=DECL=HS  
 村人たちも (彼を) とても慕ったそう。
- (17) **Dai=hku ngà=ngà ré=yàng=shèq,**  
 that=like live=CONT LV=when=then  
 そのように暮らしていると,
- (18) **dai gahtàwng=káwq=ná Hkàwn-Tawng ngú=ai amyú-shayi-shà**  
 that village=LOC=GEN PSN-PSN say=NMLZ race-girl-child  
**langâi-mi=mùng sa=ná,**  
 one-one=also come=SEQ  
 その村の「コントン」という 1 人の少女も来て,
- (19) **shaní=shagù sara=ná matu shàt-sì mái=ni grài mu=ná,**  
 day=every teacher=GEN for food-food=PL very be.delicious=SEQ  
**sa jàwq shá=ai=dàq.**  
 come give eat=DECL=HS  
 毎日, 先生のためにご飯を美味しく, 来て食べさせたそう。
- (20) **Sara=má Hkàwn-Tawng=hpéq grài tsáwq-ràq=màt=s-ai=dàq.**  
 teacher=also PSN-PSN=ACC very love-like=COMPL=CSM-DECL=HS  
 先生もコントンのことがとても好きになってしまったそう。
- (21) **Shi=hpéq rái=ni hkrùt=ya, shàt-lùq-shá=ni lajàng jàwq rê majàw,**  
 3sg=ACC things=PL wash=BEN rice-eat-drink=PL prepare give LV because  
 彼のために洗濯ものをして, ご飯を作ってくれたので,
- (22) **Hkàwn-Tawng=hpéq tsáwq-ràq=s-ai=dàq.**  
 PSN-PSN=ACC love-like=CSM-DECL=HS  
 コントンのことが好きになったそう。
- (23) **Tsáwq-ràq=ná, shán lahkâwng=gàw “Hkùngrán-pói galaw=na” ngú=ná,**  
 love-like=SEQ 2du 2=TOP marry-festival do=IRR say=SEQ  
 好きになって, 彼ら 2 人は「結婚式をしよう」といって,



- (24) **mare-salang=ni, tsun=ai shalói=gàw, “Mai=ai” ngú=ná,**  
 village-elder=PL say=NMLZ when=TOP be.OK=DECL say=SEQ  
 村の年配者たちは、(彼ら 2 人がそう) いったとき、「(結婚しても) よい」といって、
- (25) **hkùngrán-pói=má galaw=ya ré=ná,**  
 marry-festival=also do=BEN LV=SEQ  
 結婚式もしてくれて、
- (26) **jàwng makau=káwq nítâ gáp=dá=ya=ai=dàq.**  
 school beside=LOC house build=RES=BEN=DECL=HS  
 学校の近くに家を建ててくれたそうだ。
- (27) **Gáp=dá=ya rê shalói=gàw, dai=hku ngà=ngà ré yàng=shèq,**  
 build=RES=BEN LV when=TOP that=like live=CONT LV when=then  
 建ててやったとき、そのように住んでいると、
- (28) **dai Hkàwn-Tawng=gàw=dàq, shanáq=dèq qyùp-tung lài=ai hpang ré yàng,**  
 that PSN-PSN=TOP=HS night=ALL sleep-rise pass=NMLZ after COP when  
 そのコントンはだそうだ、真夜中を過ぎたあとになると、
- (29) **shi=gàw hkawm=màt-màt rê=dàq.**  
 3sg=TOP walk=COMPL-RED COP=HS  
 彼女はいつも出かけてしまっていたそうだ。
- (30) **Garà=dèq hkawm=ai rê=mùng n-chye, hkawm=màt-màt rê=shèq,**  
 where=ALL walk=NMLZ COP=also NEG-know walk=COMPL-RED LV=then  
 どこへ出かけたのかも知れず、いつも出かけてしまって、
- (31) **dai sara-wa=gàw shi=hkrai=shà qyúp=ná,**  
 that teacher-man=TOP 3sg=alone=only sleep=SEQ  
 その先生は 1 人だけで寝て、
- (32) **mau dung=ngà, mau=ngà rái,**  
 be.surprised sit=CONT be.surprised=CONT LV  
 驚いて座っていると、驚いていると、
- (33) **dai Hkàwn-Tawng=gàw jahpàwt ré yàng=gàw,**  
 that PSN-PSN=TOP morning COP when=TOP  
 そのコントンは朝になると、

- (34) **shàn=ni, jahkyi-shàn=ni, hpa=ni, gát=káwq báí sa dung dùt=ngà=ai=dàq.**  
 flesh=PL deer-flesh=PL what=PL market=LOC again go sit sell=CONT=DECL=HS  
 肉など, 鹿肉など, 何だのを市場で, また帰って座って売っていたそうだ。
- (35) **Dai=shèq shi=gàw, sara=gàw la-náq mi=gàw ní-nyúp=ai=shà,**  
 that=then 3sg=TOP teacher=TOP one-night one=TOP NEG-sleep=NMLZ=only  
 そして, 彼は, 先生はある晩, 寝ずに,
- (36) **“Ndai num ndai=gàw ngai náwq yu=na.”**  
 this woman this=TOP 1sg still see=IRR  
 「この女性, この人を私はもう少し見てみよう。」
- (37) **“Shanáq garà=dèq sa=ai=kún” ngú=ná,**  
 night where=ALL go=DECL=Q say=SEQ  
 「夜どこに行くのだろうか」といって,
- (38) **“Ní-hkrít=ai=shà ngai hkán-nang=na rê” ngú=ná,**  
 NEG-fear=NMLZ=only 1sg follow-follow=IRR COP say=SEQ  
 「怖がらずに私はついて行ってみよう」といって,
- (39) **la-náq mi=gàw=dàq, shi=gàw myít=hpéq myít=dá, tin=dá=ná,**  
 one-night one=TOP=HS 3sg=TOP mind=ACC think=RES be.urgent=RES=SEQ  
 ある晩だそうだ, 彼は心に決めて,
- (40) **“Num ndai=àq lam dài-ná ngai chye=hkrà galaw=na” ngú=ná=shèq,**  
 woman this=GEN road this-night 1sg know=until do=IRR say=SEQ=then  
 「今夜この女性が行く道を私は突き止めよう」といって,
- (41) **shi dai=hku myít=ngà=yàng,**  
 3sg that=like think=CONT=when  
 彼はそうのように考えていると,
- (42) **gaja-wa, hkying shi-lahkâwng=ján, hkying langâi, lahkâwng=káwq=gàw**  
 be.good-ADV hour 10-2=over hour one two=LOC=TOP  
**ní-ngâ=s-ai=dàq.**  
 NEG-exist=CSM-DECL=HS  
 本当に, 12 時過ぎ, 1 時, 2 時になると (コントンは) いなくなっていたそうだ。
- (43) **Ní-ngâ=ai majàw, shi=má hkán-nang=màt=wà, hkán-nang=màt=wà,**  
 NEG-exist=NMLZ because 3sg=also follow-follow=COMPL=VEN follow-follow=COMPL=VEN  
 いなくなっていたので, 彼もついて行って, ついて行って,

- (44) **hkán lagú yu ré=yàng=gàw, sharà mi dù=jang=gàw,**  
 follow steal see LV=when=TOP place one arrive=when=TOP  
 ついて行ってこっそり見ると, ある場所に着くと,
- (45) **shi=gàw hpún langâi-mi=káwq shíq=àq labù-palawng=ni**  
 3sg=TOP tree one-one=LOC 3sg.GEN=GEN longyi-clothes=PL  
**ràwq=taw-ngà=ai=dàq.**  
 take.off=CONT-CONT=DECL=HS  
 彼女は1本の木のところで自分の衣類を脱いでいたそう。
- (46) **Palawng=ni labù=ni ràwq=káu-dàt=ai=htèq=gàw,**  
 clothes=PL longyi=PL take.off=away-away=NMLZ=COM=TOP  
 服やロンジーなどを脱ぐと,
- (47) **nìngmài galù-láwq=ná sharaw-alàwng tai=màt=s-ai=dàq.**  
 tail be.long-INTNS=SEQ tiger-superior become=COMPL=CSM-DECL=HS  
 尻尾がとても長く, トラになってしまったそう。
- (48) **Sharaw tai=ná, shi=gàw nàm=ná rái=ni=hpéq gyam hkawm=ngà=ai=dàq.**  
 tiger become=SEQ 3sg=TOP forest=GEN things=PL=ACC hunt walk=CONT=DECL=HS  
 トラになって, 彼女は森のものたちを捕まえてまわっていたそう。
- (49) **Shalói=gàw shi dai mù=ai=htèq=gàw,**  
 then=TOP 3sg that see=NMLZ=COM=TOP  
 そして, 彼がそれを見ると,
- (50) **sara dai=gàw hkrit=ná ntâ=dèq wà=màt=s-ai=dàq.**  
 teacher that=TOP fear=SEQ house=ALL return=COMPL=CSM-DECL=HS  
 その先生は怖くなって家に帰ってしまったそう。
- (51) **Wà=màt=ná rái=ni=hpéq lajàng=ná,**  
 return=COMPL=SEQ things=PL=ACC prepare=SEQ  
 家に帰って荷物を整理して,
- (52) **shi=gàw “Num ndai=gàw sharaw=shèq rê.”**  
 3sg=TOP woman this=TOP tiger=CONTR COP  
 彼は「この女性はトラだ。」
- (53) **“Ngai n-chye=ná hkùngrán=lá-káu=s-ai rê.”**  
 1sg NEG-know=SEQ marry=take-away=CSM-NMLZ COP  
 「私は知らずに結婚してしまったのだ。」

- (54) “**Yáq án lahkâwng jàwng=káwq ngà=wà,**”  
 now 2du 2 school=LOC live=VEN  
 「いま私たち 2 人は学校で暮らしてきたけれども」
- (55) “**shi sharaw tai=yàng=gàw ngai=gàw hkrit=s-ai” ngú=ná,**  
 3sg tiger become=when=TOP 1sg=TOP fear=CSM-DECL say=SEQ  
 「彼女がトラになるのが私は怖くなった」といって、
- (56) **shi=gàw hprawng=ná rái=ni máq sha-chyíp=káu=ai=dàq.**  
 3sg=TOP escape=SEQ things=PL be.exhausted CAUS-be.arranged=away=DECL=HS  
 彼は逃げるために荷物もすべて整えたそうさ。
- (57) **Sha-chyíp=lá=ná jahpàwt qyúp ràwt=ai=htèq=gàw,**  
 CAUS-be.arranged=take=SEQ morning sleep wake.up=NMLZ=COM=TOP  
 整えて、朝、起きるやいなや、
- (58) **shi=gàw Maliq-hkàq makau=ná,**  
 3sg=TOP PLN-river beside=ABL  
 彼はマリ川から、
- (59) **Maliq-hkàq-nu zàwn rê hkàq-nu gabà makau=káwq=ná**  
 PLN-river-mother like COP river-mother big beside=LOC=ABL  
 マリの大河のような大きな川の近くから、
- (60) “**Hkàq-li=htèq kalàngtáq lawúq-gá=dèq, garà=dèq dù=yàng dù,**”  
 water-boat=COM at.once lower-land=ALL where=ALL arrive=if arrive  
 「舟で直ちに平地へ、どこへ着こうが着こう」
- (61) “**ndai gahtàwng=káwq=ná=gàw ngai=gàw wà=màt=sa-na” ngú=na**  
 this village=LOC=ABL=TOP 1sg=TOP return=COMPL=CSM-IRR say=SEQ  
 「この村からは私は帰ってしまおう」といって
- (62) **wà=màt=ai=dàq.**  
 return=COMPL=DECL=HS  
 帰ってしまったそうさ。
- (63) **Wà=màt rê shalói=gàw,**  
 return=COMPL LV when=TOP  
 帰ってしまったとき、

- (64) **Hkàwn-Tawng=káwq=gàw mà-hkùm rái=taw-ngà=ai=dàq.**  
 PSN-PSN=LOC=TOP child-body COP=CONT-CONT=DECL=HS  
 コントンは身重になっていたそうだ。
- (65) **Mà-hkùm rái=shèq, gashà=hpéq=mùng chyúq á-tsâwm=shà jàwq=ai=dàq.**  
 child-body COP=then child=ACC=also breasts ADV-be.well=only give=DECL=HS  
 身重になっていて、子どもにもしっかりと乳を与えたそうだ。
- (66) **Mà shangài=ai=htèq, á-tsâwm=shà ré=ná lajàng=ai.**  
 child bear=NMLZ=COM ADV-be.well=only COP=SEQ care.for=DECL  
 子どもを産んで、しっかりと面倒をみたそうだ。
- (67) **Rái=tîm shi=gàw shanáq-ahkying dù=jang,**  
 COP=but 3sg=TOP night-time arrive=when  
 しかし、彼女は夜になると、
- (68) **shi=gàw nàm=dèq hkawm=màt-màt rê.**  
 3sg=TOP forest=ALL walk=COMPL-RED COP  
 彼女はいつも森へ出かけてしまった。
- (69) **Ndai, sharaw-alàwng n-tai-n-mai,**  
 well tiger-superior NEG-become-NEG-be.OK  
 その、トラにならずにはいられず、
- (70) **shi tai=mayu=wà-wà ré=ai=dàq.**  
 3sg become=DESID=VEN-RED COP=DECL=HS  
 彼女はいつも(トラに)なりたくなかったそうだ。
- (71) **Dai majàw, mà=gàw qlòì gabà=wà=jang=gàw tsun=ai=dàq.**  
 that because child=TOP a.little grow=VEN=when=TOP say=DECL=HS  
 だから、子どもは少し成長するといったそうだ。
- (72) **“Áqnû, nang garà=dèq sa=na ngú=na=lâw.”**  
 mother 2sg where=ALL go=IRR say=IRR=Q  
 「お母さん、あなたはどこへ行こうというのですか。」
- (73) **“Qnû, nang shanáq ré=yàng í-ngâ=màt-màt rê=lè.”**  
 mother 2sg night COP=when NEG-exist=COMPL-RED COP=SFP  
 「お母さん、あなたは夜になるといつもいなくなってしまうよ。」

- (74) “È, qnû nang shá=na matu lùq-shá tam hkawm=ai ngú.”  
 INTJ mother 2sg eat=IRR for drink-eat look.for walk=DECL say  
 「はい、お母さんはあなたが食べるために食べ物を探し歩いているのだと。」
- (75) “Dài-náq=gàw ngai=má hkán-nang=na” ngú=ná,  
 this-night=TOP 1sg=also follow-follow=IRR say=SEQ  
 (子どもは)「今夜は私もついて行きます」といって、
- (76) shi manga-ning ré=yàng=gàw,  
 3sg 5-year COP=when=TOP  
 彼が5歳になると、
- (77) dai shalói=gàw “Hkán-nang=na” ngú=s-ai=dàq.  
 that when=TOP follow-follow=IRR say=CSM-DECL=HS  
 そのとき「ついて行く」といったそうだ。
- (78) “Hkán-nang=na” ngú=jang=gàw,  
 follow-follow=IRR say=when=TOP  
 「ついて行く」というと、
- (79) shíq ganù=gàw “Nang hkrit=na rê=lâw” nga=yàng,  
 3sg.GEN mother=TOP 2sg fear=IRR COP=SFP say=when  
 彼の母は「あなたは怖がるでしょうよ」というと、
- (80) “Ngai í-hkrit=ai.”  
 1sg NEG-fear=DECL  
 (子どもは)「私は怖くありません。」
- (81) “Nang hpún òtsa=káwq qyúp=ngà=ùq=qyâw” nga=yàng,  
 2sg tree upper=LOC sleep=CONT=IMP=SFP say=when  
 (コントンが)「あなたは木の上で寝ていなさいよ」というと、
- (82) “Mai=ai” ngú=shèq, qyúp=taw-ngà=ai.  
 be.OK=DECL say=then sleep=CONT-CONT=DECL  
 (子どもは)「分かりました」といって、寝ていた。
- (83) Hpún òtsa=káwq shi pinra ra=ná, shíq gashà sha-qyúp=dá ré=ná,  
 tree upper=LOC 3sg platform make=SEQ 3sg.GEN child CAUS-sleep=RES LV=SEQ  
 木の上に彼女は足場を作って、彼女の子どもを寝かせておいて、

- (84) **shi=gàw dai=hku=ná labù-palawng=ni=éq báì ràwq ré=shèq,**  
 3sg=TOP that=like=SEQ longyi-clothes=PL=ACC again take.off LV=then  
 彼女はそのように衣類をまた脱いで、
- (85) **shíq gashà=gàw yu=taw-ngà=ai=dàq.**  
 3sg.GEN child=TOP see=CONT-CONT=DECL=HS  
 彼女の子どもは見ていたそうだ。
- (86) **Yu=taw-ngà=yàng, gaja-wa, shíq ganù-wa labù-palawng=ni máq=hkrà**  
 see=CONT-CONT=when be.good-ADV 3sg.GEN mother-man longyi-clothes=PL be.exhausted=until  
 見ていると、本当に、母が衣類をすべて
- (87) **ràwq ngút=ai=htèq=gàw, sharaw gabà tai=màt=shèq,**  
 take.off finish=NMLZ=COM=TOP tiger big become=COMPL=then  
 脱ぎ終わると、本当に大きなトラになってしまい、
- (88) **“Áqnû, áqnû, htó, sharaw sa=wà=ràq=ai” ngú=yàng,**  
 mother mother over.there tiger come=VEN=VEN=DECL say=when  
 (子どもは母がトラになったことが理解できなかったので)「お母さん、お母さん、あそこ  
 にトラがやってきました」というと、
- (89) **gadai=mùng n-sa jèq=lá=ai=dàq.**  
 who=also NEG-come stop=take=DECL=HS  
 誰も止めに来なかったそうだ。
- (90) **Dai shalói mà-gashà dai=gàw “Ĭ, ngai grài hkrit=s-ai” ngú=ná=shèq,**  
 that when child-child that=TOP INTJ 1sg very fear=CSM-DECL say=SEQ=then  
 そのとき、その子どもは「うわあ、私はとても怖い」といって、
- (91) **kalàngtáq myì=ná sa=wà=ai lam=káwq,**  
 at.once ago=GEN come=VEN=NMLZ road=LOC  
 直ちに先ほど来た道を、
- (92) **shíq ganù sharaw tai=màt=wà=ai hpang,**  
 3sg.GEN mother tiger become=COMPL=VEN=NMLZ after  
 彼の母がトラになってしまったあと、
- (93) **shi=gàw dai=hku gát=ná, mare=dèq wà=ná=shèq,**  
 3sg=TOP that=like run=SEQ village=ALL return=SEQ=then  
 彼はそのように走って、村に帰って、

- (94) **hpung-sara langâi=àq ñtâ=káwq wà ngà=s-ai=dàq.**  
 Christian-teacher one=GEN house=LOC return live=CSM-DECL=HS  
 そのこの 1 人の牧師の家に帰って暮らし始めたそうだ。
- (95) “**Ngai sara=káwq=shà ngà=sa-na.**”  
 1sg teacher=LOC=only live=SCM-IRR  
 「私は先生のところでだけ暮らします。」
- (96) “**Nánhte=káwq=shèq ngà=sa-na.**”  
 2pl=LOC=CONTR live=CSM-IRR  
 「あなたたちのところでだけ暮らします。」
- (97) “**Ngai qnû=htèq ñ-ngâ=s-ai.**”  
 1sg mother=COM NEG-live=CSM-DECL  
 「私はお母さんともう暮らしません。」
- (98) “**Hkrit=ai**” **ngú=ná, ngà=ngà=ai=dàq.**  
 fear=DECL say=SEQ live=CONT=DECL=HS  
 「怖いです」といって、(そこで) 暮らしていたそうだ。
- (99) **Ngà=ngà rê shalói=gàw, shíq gashà=gàw dai=káwq,**  
 live=CONT LV when=TOP 3sg.GEN child=TOP that=LOC  
 住んでいると、彼女の子どもがそこに、
- (100) **hpung-sara-gabà-ñtâ=káwq=shà ngà=màt=jang=gàw,**  
 Christian-teacher-big-house=LOC=only live=COMPL=when=TOP  
 牧師の家にだけ住んでいると、
- (101) **qlòì-mi tsan=ai=dàq, shánhte ngà=ai ñtâ=htèq.**  
 a.little-one be.far=DECL=HS 3pl live=NMLZ house=COM  
 (牧師の家は) 少し遠かったそうだ、彼ら (コントンたち) が住んでいた家からは。
- (102) **Shalói Hkàwn-Tawng=gàw shíq gashà=éq tam hkawm rê hpang=è,**  
 then PSN-PSN=TOP 3sg.GEN child=ACC look.for walk COP after=LOC  
 そして、コントンは彼女の子どもを探したあと、
- (103) **dai=káwq qyúp=ngà=ai lam=hpéq shi chye ré=jang=shèq,**  
 that=LOC sleep=CONT=NMLZ way=ACC 3sg know LV=when=then  
 (子供が) その家で寝泊まりしていることを彼女は知ると、



- (104) **shi=gàw shíq gashà=hpéq sa woi=ai=dàq.**  
 3sg=TOP 3sg.GEN child=ACC come take=DECL=HS  
 彼女は子どもを迎えにきたそうだ。
- (105) **Rái=tîm hpung-sara-wa=gàw tsun=ai=dàq.**  
 COP=but Christian-teacher-man=TOP say=DECL=HS  
 しかし、牧師はいったそうだ。
- (106) **“Nang=ná pràt=káwq nánhte=ná amyú dai bàwq rê majàw,”**  
 2sg=GEN life=LOC 2pl=GEN lineage that kind COP because  
 「あなたの人生で、あなたたちの種族はそのような種類なので」
- (107) **“nang sharaw tai=ai=pyi ram=s-ai.”**  
 2sg tiger become=NMLZ=even be.enough=CSM-DECL  
 「あなたはトラになっただけまだまだ (ほかのもっとひどい獣にならなっただけま  
 した)。」
- (108) **“Náq gashà=gàw á-tsâwm=shà galù-gabà=wà=ùqgàq.”**  
 2sg.GEN child=TOP ADV-be.well=only be.long-be.big=VEN=OPT  
 「あなたの子どもはしっかりと成長しますように。」
- (109) **“Nang tàwn=dá=ùq=qyâw” ngú=ná tsun=ai=dàq.**  
 2sg put=RES=IMP=SFP QUOT=SEQ say=DECL=HS  
 「あなたは (ここに子どもを) 置いておきなさいよ」といったそうだ。
- (110) **“Htó nàm=dèq sharaw tai=yàng tai=màt=wà=sa-núq” ngú,**  
 over.there forest=ALL tiger become=when become=COMPL=VEN=CSM-IMP QUOT  
 「あの森へトラになるならなって帰きなさい」と
- (111) **sara-wa=gàw kyú hpyí=ya=ai=htèq marên, sharaw tai=ná,**  
 teacher-man=TOP favor pray=BEN=NMLZ=COM same tiger become=SEQ  
 牧師が祈るやいなや、(コントン)は) トラになって、
- (112) **dai mare=káwq=ná galói=mùng sharaw-ñlàwng Hkàwn-Tawng=éq**  
 that village=LOC=ABL when=also tiger-weretiger PSN-PSN=ACC  
**ń-mû=màt=s-ai=dàq.**  
 NEG-see=COMPL=CSM-DECL=HS  
 その村では決して人虎のコントンを見なくなってしまったそうだ。

記号・略号

-	morpheme boundary	DESID	desiderative
=	clitic boundary	DIM	diminutive
1	first person	GEN	genitive
2	second person	HS	hearsay
3	third person	IMP	imperative
sg	singular	INTJ	interjection
du	dual	INTNS	intensifier
pl	plural	IRR	irrealis
C	consonant	LOC	locative
T	tone	LV	light verb
V	vowel	NEG	negative
ABL	ablative	NMLZ	nominalizer
ACC	accusative	OPT	optative
ADV	adverbializer	PL	plural
ALL	allative	PLN	place name
BEN	benefactive	PSN	person name
COMPL	completive	QUOT	quotative
COM	comitative	Q	question
CONT	continuous	RED	reduplicant
CONTR	contrastive	RES	resultative
COP	copula verb	SEQ	sequential
CSM	change-of-state marker	SFP	sentence-final particle
DECL	declarative	TOP	topic
DESID	desiderative	VEN	venitive

参考文献

- Ashley, Leonard R. N. 2001. *The complete book of werewolves*. New York: Barricade Books.
- Aylesworth, Thomas G. 1970. *Werewolves and other monsters*. Reading, MA: Addison-Wesley.
- Bennison, J. J. 1931. *Census of India, 1931, Vol.11 (Burma), Pt.1 Report*. Rangoon: Office of the Supdt., Govt. Printing and Stationery.
- Bradley, Mary H. 1929. *Trailing the tiger*. New York and London: D. Appleton.
- Brighenti, Francesco. 2017. Traditional beliefs about weretigers among the Garos of Meghalaya (India). *eTropic* 16.1: 69–111.

- Brown, R. Grant. 1911. The Tamans of the Upper Chindwin, Burma. *The Journal of the Royal Anthropological Institute* 41: 305–317.
- Burling, Robbins. 2003. *The language of the Modhupur Mandi (Garo), Vol. II: Lexicon* Ann Arbor, MI: University of Michigan.
- Dunlop, Richard. 1979. *Behind Japanese lines: With the OSS in Burma*. Chicago: Rand McNally.
- Enfield, N. J. and Bernard Comrie (2015) Mainland Southeast Asian languages: State of the art and new directions. In N. J. Enfield and Bernard Comrie (eds.) *Languages of Mainland Southeast Asia: The state of the art*, 1–27. Berlin: Mouton de Gruyter.
- Enriquez, C. M. 1916. *A Burmese enchantment*. Calcutta : Thacker, Spink.
- Girsham, Jack with Lowell Thomas. 1971. *Burma Jack*. New York: Norton.
- Hamel, Frank. 1915. *Human animals*. New York: Frederick A. Stokes.
- Hanson, Ola. 1906. *A dictionary of the Kachin language*. Rangoon: American Baptist Mission Press.
- Hanson, Ola. 1913. *The Kachins: Their customs and traditions*. Rangoon: American Baptist Mission Press.
- 黄布凡 (編) 1992. 『藏緬語語音和詞匯』北京：中央民族学院出版社. Accessed via STEDT database <http://stedt.berkeley.edu/search/> on 2020-02-29.
- Hutton, John H. 1920. Leopard-men in the Naga hills. *The Journal of the Royal Anthropological Institute of Great Britain and Ireland* 50: 41–51.
- 藤原敬介. 2016. 「タマン語の系統再考」『京都大学言語学研究』 35: 1–34.
- 上尾龍介. 1974. 「人虎伝と山月記」『中国文学論集』 4: 91–104.
- Kharmawphlang, Desmond. 2001. In search of tigermen: The were-tiger tradition of the Khasis. *India International Centre Quarterly* 27/28: 160–176.
- Kurabe, Keita. 2013. *Recordings of Jinghpaw folktales*. Digital collection managed by PARADISEC. [Open Access] DOI: 10.4225/72/59888e8ab2122
- Kurabe, Keita. 2016. A grammar of Jinghpaw. Ph.D. dissertation, Kyoto University.
- Kurabe, Keita. 2017. Jinghpaw. In Graham Thurgood and Randy J. LaPolla (eds.) *The Sino-Tibetan Languages*, Second edition, 993–1010. London and New York: Routledge.
- Kurabe, Keita. 2018. The loss of the proto-velar finals in Standard Jinghpaw. *Journal of the Southeast Asian Linguistics Society* 11.1: 1–12.
- 倉部慶太. 2020. 『ジンポー語文法入門』東京：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- LaPolla, Randy J. 2003. An overview of Sino-Tibetan morphosyntax. In Graham Thurgood and Randy J. LaPolla (eds.) *The Sino-Tibetan Languages*, 22–42. London and New York: Routledge.
- Locke, Arthur. 1954. *The tigers of Trengganu*. London: Museum Press.
- Lynam, Antony J. 2003. *A national tiger action plan for the Union of Myanmar*. Yangon: Myanmar Forest Department, Ministry of Forestry, Myanmar.

- Lyngdoh, Margaret. 2016. Tiger transformation among the Khasis of Northeastern India: Belief worlds and shifting realities. *Anthropos* 111: 649–658.
- Marrison, Geoffrey E. 1967. The classification of the Naga languages of north-east India. Ph.D. Dissertation, School of Oriental and African Studies, University of London. Accessed via STEDT database <http://stedt.berkeley.edu/search/> on 2020-02-29.
- Matisoff, James A. 1988. *The dictionary of Lahu*. Berkeley: University of California Press.
- Matisoff, James A. 2003. *Handbook of Proto-Tibeto-Burman: System and philosophy of Sino-Tibetan reconstruction*. Berkeley, Los Angeles and London: University of California Press.
- Mazaudon, Martine. 1994. Problèmes de comparatisme et de reconstruction dans quelques langues de la famille tibéto-birmane. Thèse d'Etat, Université de la Sorbonne Nouvelle. Accessed via STEDT database <http://stedt.berkeley.edu/search/> on 2020-02-29.
- Newman, Patrick. 2012. *Tracking the weretiger: Supernatural man-eaters of India, China and Southeast Asia*. Jefferson: McFarland.
- Pollok, Fitz William Thomas and W. S. Thom. 1900. *Wild sports of Burma and Assam*. London: Hurst and Blackett, limited.
- Rose, Carol. 2001. *Giants, monsters, and dragons: An encyclopedia of folklore, legend, and myth*. New York: W. W. Norton.
- Skeat, Walter W. 1900. *Malay magic*. London: MacMillan.
- Thomas, Northcote Whitridge. 1911. Lycanthropy. In Hugh Chisholm (ed.) *Encyclopædia Britannica*, 17, 11th edition, 149–150. Cambridge: Cambridge University Press.
- 王貝. 2015. 「山月記」および「人虎伝」における唐以前の虎の変身語要素の伝承『言語文化共同研究プロジェクト』 2014: 47–56.
- Wessing, Robert. 1986. *The soul of ambiguity: The tiger in Southeast Asia*. DeKalb: Center for Southeast Asian Studies, Northern Illinois University.

受理日 2020 年 4 月 6 日